

国語科

教科の重点目標 主体的に学習に取り組む態度を育成し、読むこと・書くこと・話すこと・聞くことを通じた課題解決能力の育成につなげる。

	学習指導に関する現状と課題	授業改善のための具体的な取組	補充・発展的な学習指導の計画（具体的な取組の目標値や評価規準等）	今年度の評価（成果と課題）
第3学年	<p>◎授業中の取り組みに関する観点</p> <p>【読むこと・書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組みは非常に意欲的だが、語彙や表現についての基礎的基本的な内容について課題が残る生徒も多い。 学習習慣を確立した生徒が多く。定期考査の結果では安定した成績を残している。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2学年から継続して指導し、基本的な文章構成の枠組みを生かして文章を書くことができるようになってきている。 <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言は積極的で、話し合い活動も活発に行うことができる。 準備されたスピーチなどには安定して取り組める一方、討論や意見をその場でまとめながら発言するなどの活動には課題が残る。 <p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 週に1回、漢字10問テストを実施し、知識の定着を図っている。範囲が限られていることで継続的に努力できる生徒が多く、安定した成績を残している。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に辞書を活用し、語彙の増強に努める。 意味調べ、短文作成などの活動を通して、生きて働く言葉としての定着を図る。 物語文、説明文などジャンルごとの特性に合わせた読み方の視点を繰り返し指導する。 <ul style="list-style-type: none"> 2年生の頃と同様、文章の型を提示し、まずはその型のおりに書けるように指導する。 作文などは、時間内に書けるよう小課題を繰り返し取り組ませる。 <ul style="list-style-type: none"> 模範的な「話す」姿勢を育成するため、学期に1回程度、スピーチを実施する。 「聞く」技術を向上させるため、学期に2回程度、聞きとりテストを実施する。また、授業中の「聞き取り書き」によるノート指導を重点的に行う。 <ul style="list-style-type: none"> 今後も、週に1度の漢字テストを実施し、定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の文章以外にも、入試を意識した文章を多く読ませる。 時間配分の方法や、文章の読み方を指導していく。 <ul style="list-style-type: none"> 課題作文、読書感想文、エッセイ、入試小論文など様々な形の文章を書くことに慣れさせ、定められた時間内に書ききれる能力を伸ばす。 <ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間の発表会とも連動させ、スピーチコンテストを行う。 <ul style="list-style-type: none"> 表現技法のテスト、文法テスト、ことわざ・慣用句テストなどをクイズ形式等を利用して積極的に取り入れ、学習意欲を高める。 	

